

関西入厩

生産 ノーザンファーム

繋養 ノーザンファームYearling

入厩予定 角居勝彦厩舎

アドマイヤハッピー × ノーザンファーム



140

ディーブインバクト 鹿 2002	*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Halo	Hail to Reason
			Cosmah
		Wishing Well	Understanding
			Mountain Flower
牡・鹿毛 2010年 4月22日	*ウインドインハーヘア Wind in Her Hair 鹿 1991	Alzao	Lyphard
			Lady Rebecca
		Burghclere	Busted
			Highclere
アドマイヤハッピー 鹿 1998	*トニービン Tony Bin 鹿 1983	*カンバラ	Kalamoun
			State Pension
		Severn Bridge	Hornbeam
			Priddy Fair
カーリーエンジェル 栗 1990	*ジャッジアンジェーチ		Honest Pleasure
			Victorian Queen
		*ノーザンテースト	
		ダイナカール	シャダイフェザー(8)

ポイント

POINT

種牡馬の能力を色濃く引き出し、自身の持つ血統のポテンシャルから最良の種牡馬を配合され、その期待に応える母。今年には誰もが待ち焦がれた「あの馬」を迎えての登場です。親元を離れた頃は目立つところがなく、どこかぎこちない走り方を心配したのも杞憂に終わり、春先から気温が上がるにつれて馬体が成長すると、加速度的に厩舎で1、2を争う好馬体へと変貌を遂げ、今後の夜間放牧によりさらなる成長が期待できます。重賞ウイナーの長兄は育成時より勝ち気な性格を前面に出しながら勝利を重ねてきましたが、本馬は平素冷静さを保つことができ、将来は幅広い選択肢がありそうです。

母系

FAMILY

母の父 *トニービン Tony Bin は愛国産、全欧古牡馬チャンピオン、伊仏15勝、凱旋門賞-G1。本邦チャンピオンサイアー。【BMS:主な産駒】アドマイヤベガ(ダービー-JPN1)、ハーツクライ(ドバイ シーマ クラシック-G1)、キャプテントゥーレ(皐月賞-JPN1)、ヴィクトリー(皐月賞-JPN1)、アドマイヤドン(JBCクラシック-JPN1・3回)、ショウワモダン(安田記念-G1)

母 アドマイヤハッピーは4勝、摺上特別(芝1800m)、紫苑S-OP 3着。産駒

ウォータクティクス(05 牡 黒鹿 *ウォーエンブレム)6勝、アンタレスS-G3(D1800m、レコード)、アルデバランS-OP(D1800m)、フェアウェルS(D1800m)、^⑧

キタサンアミーゴ(06 牡 栗 フジキセキ)5勝、松籟S(芝2400m)、境港特別(芝2200m)、睦月賞(芝2400m)、山吹賞(芝2200m)、ダイヤモンドS-G3 3着、弥生賞-JPN2 4着、^⑧

ヘヴンリーブリス(08 牡 鹿 アグネスタキオン)1戦、^⑧

ドラケンスバーグ(09 牡 黒鹿 フジキセキ)未出走

祖母 カーリーエンジェルは5戦、入着。産駒

オレハマツテルゼ:9勝、高松宮記念-JPN1、同-G1 5着、京王杯スプリングC-G2、同2着、同3着、キャピタルS-OP、晩春S、甲斐駒特別、保津峡特別、富嶽賞、東京新聞杯-JPN3 2着、阪急杯-JPN3 3着、スワンS-JPN2 5着。種牡馬

エガオヲミセテ:4勝、マイラーズC-JPN2、阪神牝馬特別-JPN2、スイートピーS-OP、府中牝馬S-JPN3 2着、エリザベス女王杯-JPN1 3着、マーメイドS-JPN3 3着(2回)、秋華賞-JPN1 4着、朝日チャレンジC-JPN3 5着

エノク:7勝、太秦S-OP(2回)、渡月橋S、室町S-OP 2着、カベラS-G3 3着、ベルセウスS-OP 3着、BSN賞-OP 3着、^⑧

トゥリオンファーレ:4勝、鴨川特別、ラジオNIKKEI杯2歳S-JPN3 3着、^⑧

アドマイヤハッピー:4勝、摺上特別、紫苑S-OP 3着

曾祖母 **ダイナカール**は最優秀2・3歳牝馬、5勝、オークス、ターコイズS、3歳牝馬S、白菊賞、アメリカJCC-JPN2 2着、桜花賞3着。**エアグルーヴ**(年度代表馬、天皇賞(秋)-JPN1)の母